

重点分野2 (中目標)	脆弱性の克服											
開発課題2-1 (小目標) 経済成長基盤の強化	【現状と課題】 ナウルは、国家持続的開発戦略2005-2025(NSDS)を策定し、財政健全化、経済成長基盤の強化などを進めているが、基本的な社会インフラの整備が不十分であり、隔絶された環境により資機材の入手や人材育成に困難が伴うことから、社会サービスが十分に提供できていないなどの課題がある。					【開発課題への対応方針】 「国家持続的開発戦略」(NSDS)を踏まえて、財政健全化、経済成長基盤強化、社会サービスの向上に資する支援を実施する。						
	協カプログラム名	協カプログラム概要	案件名	スキーム	実施期間						支援額 (億円)	備考
	経済インフラ整備・維持管理能力強化プログラム	経済成長基盤の強化に必要な社会インフラの改善及び基礎的な社会サービスの向上に資する協力を行う。	経済インフラ分野の草の根・人間の安全保障無償資金協力	草の根無償	2017年度以前	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2.00	発電用燃料、作業船等
			経済社会開発計画	無償								
			経済インフラ整備・維持管理能力強化分野の課題別研修	課題別研修他								
			太平洋島嶼国リーダー教育支援プログラム(Pacific-LEADS)	国別研修								
国際漁業振興協力事業			農林水産省技協									
開発課題2-2 (小目標) その他	海上保安・安全能力向上プログラム	法の支配に基づく自由で開かれた海洋秩序を守るため、海上保安・安全分野における能力向上支援を進める。	違法・無報告・無規制(IUU)漁業の抑止に係る政策・対策研修	国別研修								広域
			大洋州島嶼国海上保安・安全基礎情報収集・確認調査	基礎情報収集調査								広域

【凡例】 「協準」(=全ての協力準備調査)、「詳細設計」(=詳細設計)、「技プロ」(=技術協力プロジェクト)、「開発計画」(=開発計画調査型技術協力)、「個別専門家」、「個別機材」、「国別研修」、「課題別研修他」(=課題別研修及び青年研修)、「JOCV」(=青年海外協力隊)、「SV」(=シニア海外協力隊)、「第三国専門家」、「第三国研修」、「現地国内研修」、「科学技術」(=科学技術協力(技プロ型及び個別専門家型))、「草の根技協」(=草の根技術協力)、「〇〇省技協」(=外務省・JICA以外の省庁及び独立行政法人等が実施している技術協力)、「民間提案型技協」(=開発途上国の社会・経済開発のための民間技術普及促進事業)、「無償」(=以下に特記するサブ・スキームを除く全ての無償資金協力)、「水産無償」(=水産無償資金協力)、「食糧援助」(=食糧援助)、「一般文化」(=一般文化無償資金協力)、「草の根文化」(=草の根文化無償資金協力)、「緊急無償」(=緊急無償資金協力)、「日本NGO」(=日本NGO連携無償資金協力)、「草の根無償」(=草の根・人間の安全保障無償資金協力)、「有償」(=円借款、海外投融資)、「情報収集調査」(=基礎情報収集・確認調査)、「マルチ」(=国際機関等を通じた多国間協力スキーム)、「中小企業支援」(=中小企業海外展開支援事業「基礎調査」、「案件化調査」及び「普及・実証事業」、並びに中小企業連携促進基礎調査)、実線「———」(=実施期間)、破線「- - - -」(=実施予定期間)
※この凡例にない略語を使用する場合は凡例に当概略語を記載したうえで使用する。